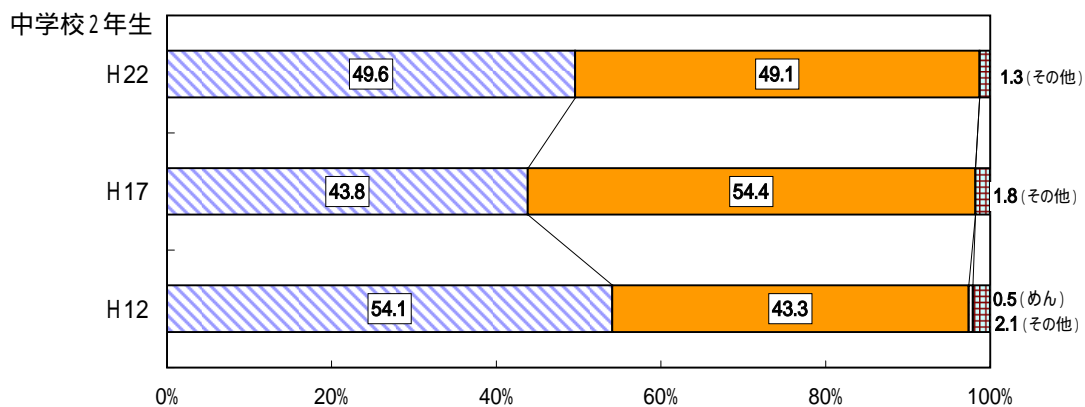
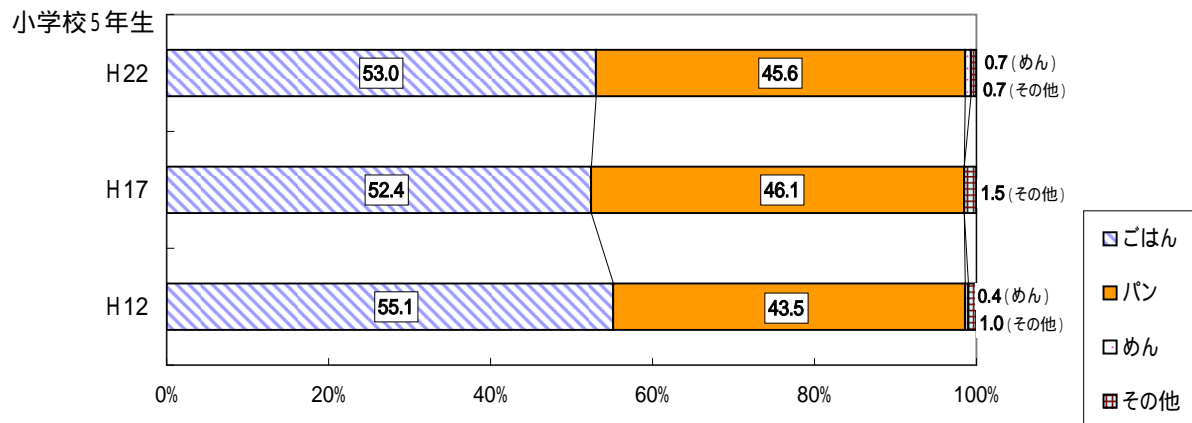


## (11) 主食

朝食にごはんを食べる割合が、減少傾向からやや増加に転じた。

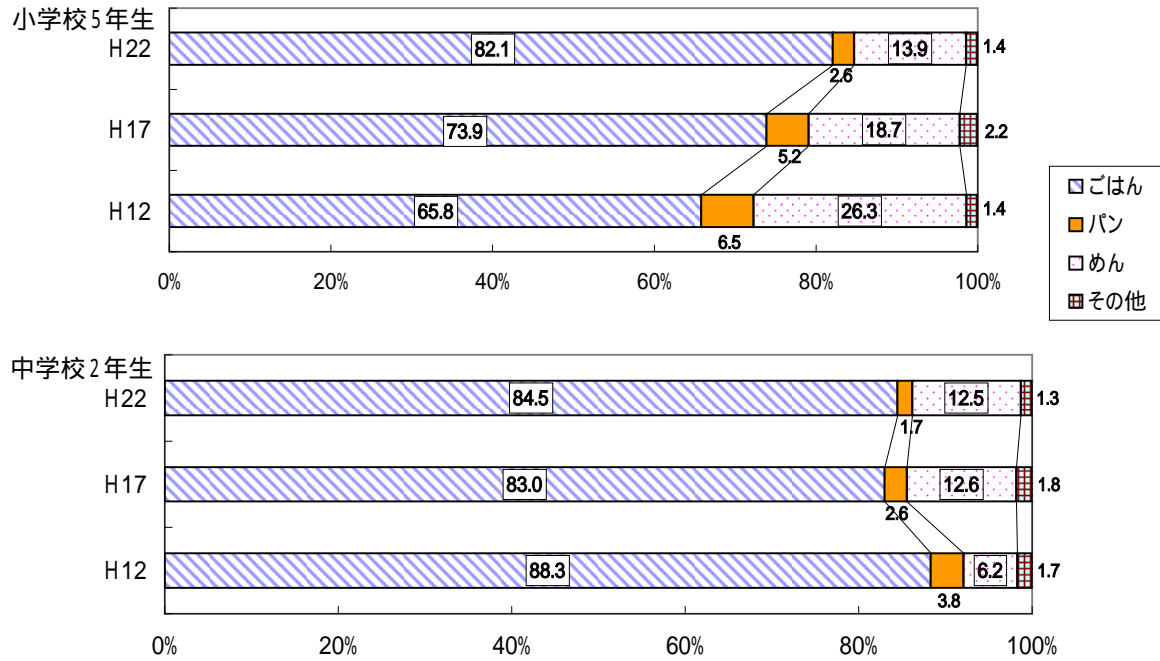
### 朝食



- ・朝食にごはんを食べる割合を比較すると、小・中学生とも、5年前よりもやや増加している。しかし、10年前と比較すると、小・中学生とも低くなっている。
- ・小学生は、ごはんが過半数を超えているが、中学生はごはんとパンがほぼ同じくらいの割合である。

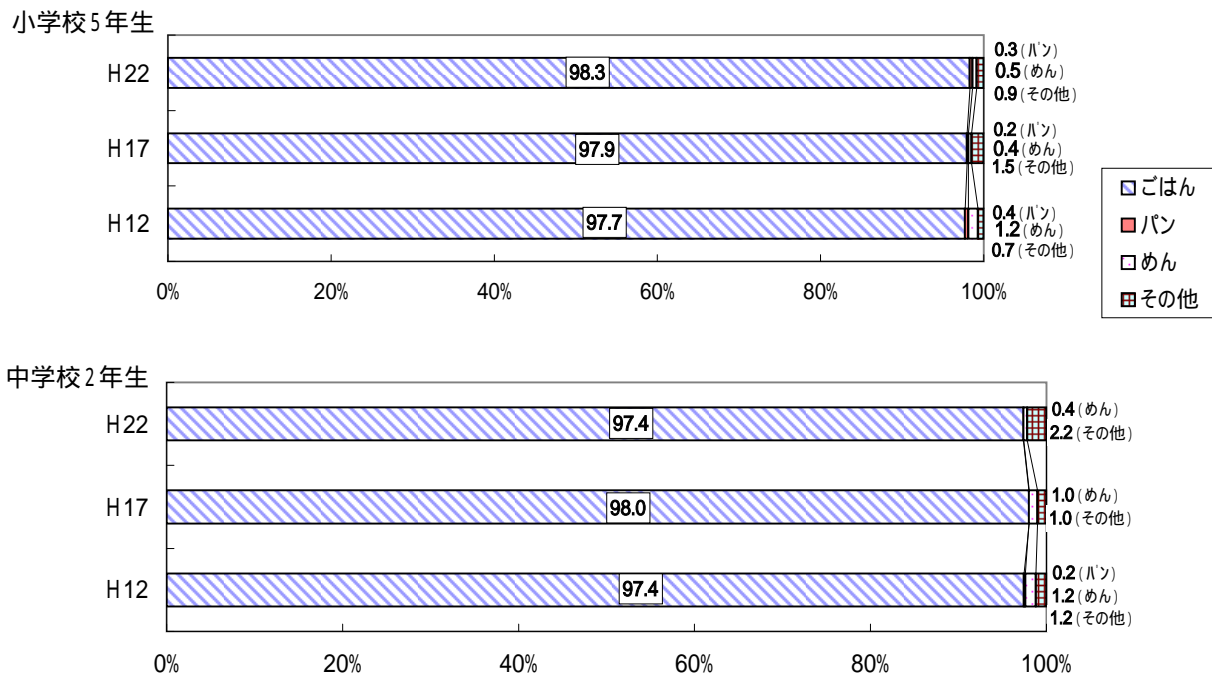
昼食の主食の傾向は、ごはんがやや増加している。夕食の主食の傾向は10年間で変わらず、ごはん中心である。

昼食



- ・小学生の昼食は、平成22年度はごはんが82.1%、めん類は13.9%である。めん類に関しては、中学生よりも割合が高い。
- ・中学生の昼食は、朝食に比べると主食にごはんを食べる割合が高く、84.5%である。小学生に比べるとめん類の割合が低く12.5%である。

夕食



- ・夕食は、小・中学生とも、ごはんを食べる割合が約98%と圧倒的に高い。